

第5B（小）分科会 —教頭の職務に関する課題—

提案主題 学校研究の充実と若い教職員の育成を図るための教頭としての役割

司会者	別府市立東山小学校	武田 謙治
提言者	別府市立大平山小学校	姫野 浩樹
助言者	別府市立緑丘小学校校長	永井 宏道
記録者	別府市立亀川小学校	寺岡 稔晃

1 協議の柱

- ・学校研究の充実と若い教職員の育成を図るための教頭としての役割

2 協議の実際

(1) グループ協議の発表

- ・Dグループ 川崎小学校 渡辺 英俊 教頭

教頭として、「校内研究で教職員の育成にどう関わっていくか。」という視点で、分掌のリーダーを育てていく事が大切であり、そのミドルリーダーにリーダーシップを発揮してもらう事が一番大切であるという結論に達しました。また、教職員の悩みを聞いていくことや実際に授業を行う事が大切であるという意見も出されました。

- ・Eグループ 耶馬溪中学校 諫山靖弘 教頭

教頭として、「校内研を充実させていくにはどうしたらよいか。」という視点で、まず、自分たちの経験では、研究発表会の発表の時に授業力がついたという意見や昔は放課後に先輩から色々と指導をされていたという意見が出されました。これからは、学年の構成でベテランと若手が組む体制をとり、小学校や中学校の枠を超えて授業を見合う必要があり、若手の先生がどんどん質問をしやすい体制づくりが必要であるという意見が出されました。

- ・Fグループ 宗方小学校 阿部 哲哉 教頭

教頭として、「若い先生方にどのようにして授業力をつけるか。」という視点で、授業研究を進めるにあたって、段階ごとに教頭として指導・助言を行い、その成果と課題を活かして次の授業に向かうことの大切さを確認すると共に、大規模校でも実際に互見授業が行われている実態から、やはり学校全体で互見授業に積極的に取り組む体制づくりが大切であるという意見が出されました。また、学力テストなどで苦手分野についての授業を見せていくべきだという意見も出されました。

3 指導助言

まず、「『人を育てることは難しい。』だからこそ、管理職としてどういう立場にいないといけないかをよく考え、研究主任等の教職員のやる気を大切に、〈ほったらかし〉や〈命令のみ〉では、決して人は育たない。」という示唆をいただきました。

そして、「『授業が上手い人は、学級経営も上手い。』それは、子どもを捉える目がしっかりしているからである。若い先生方は〈ねらい〉〈課題〉〈考えの違い〉〈まとめ〉をパターンとして授業しているのであって、それが子どもにとってどんな意味があるのかを理解せず、授業を見る場合も『この先生は、こんな所を大事にして授業をしている。』という等を理解していない。このような事を、きちんと伝えられるミドルリーダーを育てる必要がある。」という指導をいただきました。